



あと一步の向上に向けた取組

函館市立戸倉中学校

生活習慣・学習習慣の形成 基礎的・基本的な知識・技能の習得 望ましい学習態度の育成 学校組織・指導体制の改善

1 学力向上の具体的な方策

学習習慣の形成のために・・・

- (1) 家庭学習と授業を繋ぐ学習サイクルの確立
- (2) 学習パワーウィークの設定
- (3) 学習支援ボランティアの活用



2 取組の概要

(1) 家庭学習と授業を繋ぐ学習サイクルの確立

- ・数年前から「家庭学習の手引き」を作成してきたが、今年度は4月に生徒へのガイダンスを実施するとともに家庭への啓蒙を強化した。
- ・「授業内容の定着を図る家庭学習のあり方」、「家庭学習での成果を生かす授業展開」という視点で授業を構築し、2学期には教師全員が指導案を配布し、授業公開を行った。

(2) 学習パワーウィークの設定

- ・主に定期テストに向けて、学習方法を研ぎ、教科相談ができるように「学習タイム」を設定し、多くの教科担任が教室を巡回して、指導できる体制をとった。また、放課後に「寺子屋タイム」として希望者による補習を集中的に行った。
- ・学習計画表を軸に、生徒、保護者と学級担任が学習内容・時間等にかかわる情報を共有し、励ましを継続することで生徒の学習意欲を高めた。

(3) 学習支援ボランティアの活用

- ・教育大学の学習支援ボランティアの学生に、第3学年の希望者に対する放課後学習を実施してもらった。数学の基礎的内容に的をしぼったが、多くの生徒が意欲的に取り組み、家庭学習での復習のきっかけとなっていた。

3 成果（○）と課題（●）

○学力状況調査等の家庭学習時間が不十分で、学習方法を確立していない生徒が多いという分析を基に、「学習サイクル」、「パワーウィーク」に視点を向けた研究に取り組んだ。本校生徒の学習意欲の向上に功を奏したと考える。。

●本研究は、「生徒の学習の自立の過程」という認識をもって、発展させていかなければならない。

◇今後、校区内の小学校と学習面での連携を強化していく予定である。